

京都府文化政策の 現状と今後の展開

京都府文化スポーツ部文化政策室

主な取組事業(R2～3)

1 文化活動を担う人づくり

- 文化芸術の専門家の学校・地域への派遣
学校 R2:46校、R3:56校／地域 R2:11箇所、R3:11箇所
- 全国高校生伝統文化フェスティバル

2 文化の保存及び継承

- 古典の日推進事業「古典の日フォーラム」等
- 未指定文化財の修復への助成 R2:146件、R3:132件
- 和食の無形文化財への登録推進



R2 全国高校生 伝統文化フェスティバル (オンライン併用開催)



3 新たな文化の創造

- 各種芸術展の開催（R2彫刻展、いけばな展 R3写真展）

4 文化資源を生かした地域づくり

- 光や映像によるデジタルアート作品の展示
- 地域アートマネージャーの配置
- アーティスト・イン・レジデンスを活用した現代アート作品の展示
- 祭り等地域文化を支える保存会等を伴走支援する「文化観光サポーター」の配置

R3 光のアトリエ天橋立 砂浜ライトアップ



地域アートマネージャーを中心に展開

R2 大京都 2020 in 和束
(アーティスト・イン・レジデンス)



5 文化資源を活用した経済の活性化

- 国内外のギャラリーが出展するアートフェア「Art Collaboration Kyoto」
- 若手作家自身が作品を販売する「ARTISTS' FAIR KYOTO」

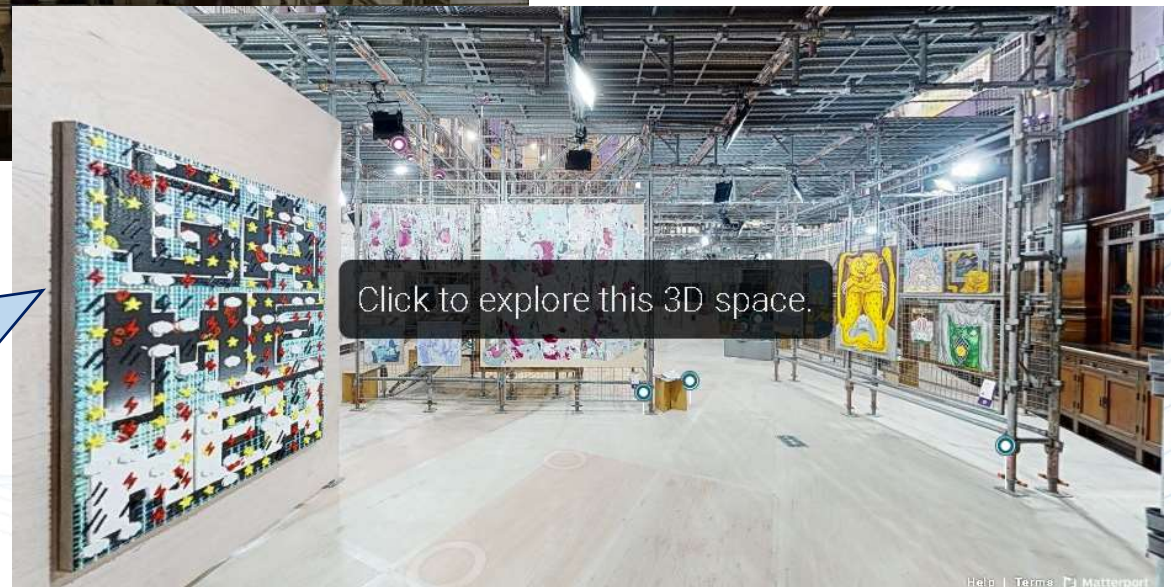
6 多様な京都の文化の発信

- オリパラに向けた「京都文化カプロジェクト」の展開
- 府内博物館等が連携して魅力を発信する「京都府ミュージアムフォーラム」

7 文化活動を支える基盤づくり

- 京都文化博物館等の府立文化施設の運営、北山エリア整備

R2 ARTISTS' FAIR KYOTO 2021



オンライン展示。
会場を特殊カメラで360°撮影し、
バーチャルに体感できる3Dインス
タレーションとしてアーカイブ化

○コロナ対策関連事業

- 文化芸術関係者支援相談窓口

相談件数 R2:7,875件 R3(~9月末):1,067件

- 文化活動継続支援補助金

R2 985件 178,112千円

- WITHコロナ文化活動支援事業

公演の開催経費を助成

R3 61件 24,543千円

- 文化団体等活動継続支援事業

公演等の活動を休止した団体等の発表の場を提供

R3 65件 34,578千円

○文化庁移転関連事業

- 文化庁京都移転ロゴマークの作成、活用
- 関西各地の地域文化の魅力を発信する「関西地域文化フェア」
- 親子で伝統文化に触れる「伝統文化体験フェスティバル+」
- 障害者芸術を発信する「CONNECT⇔(コネクト)」展



文化に関する府民意識調査結果(抜粋)

Q.この1年間で文化に関する活動を行ったか？

	n	直接鑑賞	オンライン 配信	その他 文化活動	なし
H30	2000	1074	※R2新設	314	843
H31	2000	1078		384	821
R2	2000	727	219	312	1069

◆ 直接鑑賞→オンライン **計 946**

◆ 活動を行っていない人は増加

Q.直接鑑賞の内容

	n	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア ア芸術	伝統 芸能	芸能	生活 文化	歴史的 建築等 の見学	その他
H30	1074	465	456	190	57	653	108	99	89	106	379	16
H31	1078	378	409	158	63	694	191	105	69	90	334	8
R2	727	129	203	61	21	409	200	23	31	28	137	20

◆メディア芸術(マンガ、アニメ等)のみ増加

・・・コロナ禍でも家で楽しめるもの

マンガや動画の配信サービス(サブスク)の普及

◆それ以外の項目は激減

Q.その他文化活動の内容

	n	音楽・美術等の創作・参加	音楽・茶道等の習い事	地域芸能や祭りへの参加	子どもの文化体験支援活動	文化施設における支援活動	文化的行事開催の支援活動	歴史的建築等の保存・活用支援活動	その他
H30	314	108	102	164	63	48	55	38	11
H31	384	124	158	180	68	49	60	53	7
R2	312	91	104	64	40	37	39	29	10

◆ 伝統行催事がコロナで中止となり、地域芸能・祭りへの参加は半減

評価指標(KPI) (抜粋)

評価指標	2018年度 基準値	2020年度 実績	2023年度 目標値
1 文化活動を担う人づくり			
1 文化・芸術に関わりを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合	57.8%	46.5%	70.0%
2 文化の保存及び継承			
4 地域の芸能や祭りに参加している人の割合	8.2%	3.2%	16.0%
6 社寺等の文化財を会場とした、府が関わるイベント等の開催数	146件	81件	300件
4 文化資源を生かした地域づくり			
8 府内各地域の文化的環境への満足度の差の解消	21.8%	24.2%	10.0%
9 府が関わる文化イベントにおける当該地域外からの誘客割合	52.2%	40.8%	60.0%
5 文化資源を活用した経済の活性化			
11 府が実施するアートフェア等における販売額	2,515万円	3,954万円	33,000万円
6 多様な京都の文化の発信			
12 文化発信を行った、府内開催の学会・国際会議の件数	367件	31件	450件

コロナ禍における取組

- 公演やフォーラム等のオンライン配信（ライブ配信、アーカイブ配信）
- 芸術作品等の3D撮影によるWEB上での展示
- PR動画やレクチャー動画の制作、配信
- デジタル証明書（NFT）を使ったアートなどの売買

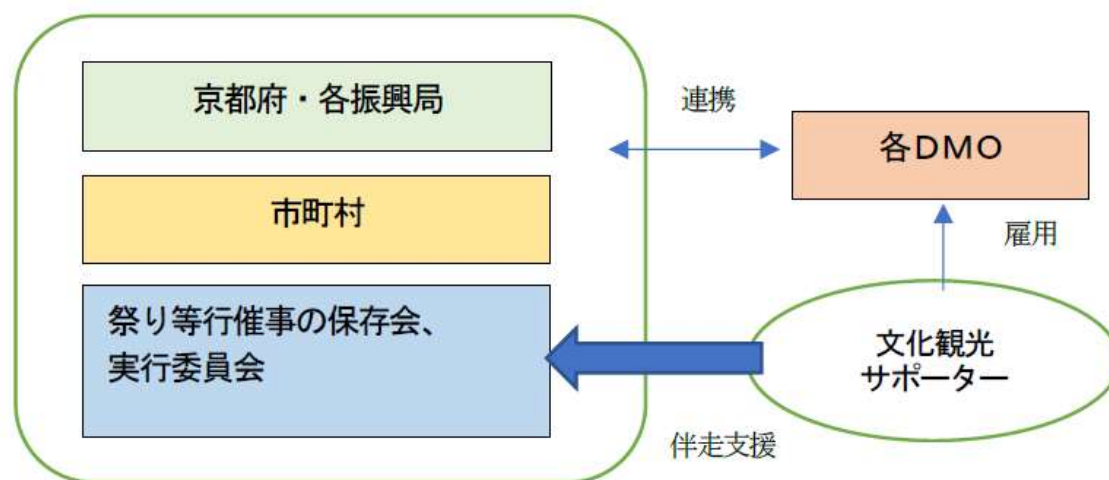
WITH コロナ・POST コロナ戦略

—文化力による京都再生—

1 京都文化の維持・継承

- 地域の祭り・行事等が持続できる支援制度の構築
- 高校や大学と連携した伝統文化の担い手育成
- 食文化等の生活文化の無形文化財への登録推進

■官民一体のネットワーク組織（地域文化活性化連絡協議会）のイメージ



2 新しい生活様式における文化体験

- リアルとバーチャルによる文化体験の拡充
- オンライン発信支援

オンライン茶会
(公財 有斐斎弘道館)



3 文化創造の「場」(環境)の充実

- 文化芸術関係者の活動支援、若手芸術家の育成
- 府内の博物館等の文化施設による地域を越えた交流ネットワークを生かした取組

4 新たな文化の創造と文化観光の推進

- デジタル技術等を活用したコンテンツの高付加価値化
- 文化観光モデルツアーの実施

5 文化庁移転を契機とした京都文化の発信

- 文化庁移転を契機とした文化首都・京都の発信イベント
- 2025年大阪・関西万博をターゲットとした日本文化の伝統、魅力の発信

